

産科 研修で経験が望ましい項目 (minimum requirement)

	シミュレーター（５年生と一緒に可）	日付	回数
A	胎児エコーのシミュレーターを行った		
A	bishop score のシミュレーターを行った		
A	分娩のシミュレーターを行った		
B	会陰縫合のシミュレーターで縫合した。		
	回診、検討会		
A	教授回診でプレゼンした（木曜日）		
A	火曜日検討会でプレゼンした（日本語）		
	分娩、帝王切開		
B	陣発後の内診を行った（bishop score）		
A	経膣分娩を見た		
B	分娩後の臍帯動脈血をとった		
B	会陰縫合の助手を行った		
A	新生児の診察をして Apgar を測定した		
A	鉗子分娩または吸引分娩を見た		
B	術前や分娩誘発の説明に立ちあった		
A	帝王切開の手術後にクスコ診をした		
A	帝王切開の第二助手に入った		
C	帝王切開の第一助手に入った		
C	帝王切開の執刀を行った		
	外来（午後中心）		
B	外来で産科症例の問診をとった。		
A	妊婦健診を見学した（午後）		
A	妊婦検診で超音波で推定体重を測定した。		
A	専門外来（スクエコ）を見学（午後）		
A	先天異常症例について超音波を見学した		
	病棟（午前中心）		
A	NST を判読した		
A	回診時にドップラーで心拍数を調べた		

A	超音波で胎児計測と羊水量測定をした		
A	回診時に褥婦の子宮底を触った		
A	母体搬送を見学した		
	学会、研究会		
B	地方会レベルの研究会に参加した。		
C	地方会レベルの研究会で発表した。		
C	北陸もしくは全国レベルの学会に参加した。		

- A 4 週間で経験することが望ましい（産科は 2 週間）
- B 8 週間で経験することが望ましい（産科は 4 週間）
- C 12 週間で経験することが望ましい（産科は 6 週間）